

サル痘ワクチンの詳細について

ワクチンについて：

JYNNEOS™ワクチンは、現在サル痘を予防するためにアメリカ食品医薬品局（FDA）によって認可されている唯一のワクチンです。このワクチンは18歳以上の方、そして特別な状況下では18歳以下の方への使用が承認されています。JYNNEOSは生きたウイルスを含み、人体ではうまく複製されません。つまり、ワクチンから感染したり、他者に感染させたりしないことを意味します。このワクチンは4週間の間隔で2回接種されます。

現在、米国におけるJYNNEOSの供給に制限がありますが、今後数週間から数か月で補給されることが見込まれています。

ワクチン対象者：

ワクチン供給量が限られているため、公衆衛生局は現在、特定の[リスクの高いグループ](#)の方々にサル痘ワクチン接種を提供しています。ワクチンはサル痘から人々を保護します。

すでにサル痘に感染している方や、サル痘の徴候や症状が見られる方はワクチン接種を受けないでください。

症状が出ている方は、かかりつけ医療従事者に連絡しましょう。かかりつけ医のいない方は2-1-1にお電話ください。また、かかりつけ医がおらず、性器や肛門周囲に発疹が発症した方は、[公衆衛生局性の健康クリニック](#)からサービスにアクセスできます。
(http://publichealth.lacounty.gov/chs_SexualHealthClinicSchedule.pdf)

QRコードを読み取って、最新のワクチン対象者情報をご覧ください。



ワクチン接種後の副反応：

JYNNEOSのワクチン接種を受けたほとんどの人は、軽い発熱、疲労感、腺の腫れ、ワクチン接種を受けた部位の赤みやかゆみなど、軽度の副反応しか見られていません。しかし、ワクチン接種を受けるべきかどうかの懸念がある場合、接種を受ける前に医療従事者にご相談ください。

ワクチンのタイミング：

CDCは、発症を予防するために、サル痘ウイルスに晒されてから4日以内にワクチン接種を受けることを推奨しています。ワクチンに晒されてから4～14日以内にワクチン接種を受けた場合、ワクチンは病状を軽減できても、感染症を防ぐことができない可能性があります。2回目のワクチン接種を受けた2週間後に完全にワクチンから免疫力を得たと考えられます。国内においてワクチンの供給に制限があるため、公衆衛生局は現在、できるだけ多くの対象者に1回目の接種を提供することを優先しています。公衆衛生局は、連邦レベルでのワクチン供給量が増えたらすぐに1回目の接種を受けた人に2回目の接種を提供する予定です。

サル痘ワクチンの詳細は、ワクチン情報シート（VIS）をご覧ください：

[天然痘・サル痘のワクチン（JYNNEOS）：知っておくべきこと](#)

(<https://www.cdc.gov/vaccines/hcp/vis/vis-statements/smallpox-monkeypox.pdf>)

追加情報が次々としてくるため、
ワクチン対象者やアクセスに関する最新情報は
[公衆衛生局のサル痘ウェブサイト](#)をご覧ください。

サル痘の詳細は次のウェブサイトをご覧ください：ph.lacounty.gov/Monkeypox/

Revised: 7/25/2022 (Japanese)



COUNTY OF LOS ANGELES
Public Health